

相談窓口事例紹介

郡上市市民協働センターでは市民活動を進める皆さんのための相談窓口を設置しており、様々な方が相談に訪れています。今回はその中から、八幡町の参道市実行委員会をご紹介します。

●参道市実行委員会（八幡町）

参道市実行委員会は、八幡町の日吉神社周辺で活動している団体です。地域を活性化することを目的として、昨年5月から活動を開始しました。現在では、毎月第2土曜日の午前中、日吉神社の境内や付近の道路で参道市を開催しています。地元で採れた野菜や特産品などを販売しているほか、茶碗でできた手作りの風鈴を飾ったり、講演を行ったりするなど、毎回趣向を凝らした市となっています。



●郡上市市民協働センターへの相談

しかしその一方、日吉神社のある立町は、他の八幡の地域と比べるとまだまだ観光客が少なく閑散とした印象があるということで、今後地域をより活性化するため、どのように参道市を推進していくべきか相談にいらっしゃいました。

●支援内容

そこで、郡上市市民協働センターでは参道市実行委員会側と具体的にどのような助けが必要なのかを話し合い、結果として以下のような支援を行っていくことになりました。

1. 参道市に参加する団体や個人を紹介し、橋渡しをする
2. 「郡上市協働まちづくり活動支援補助金」の申請手続きに関するアドバイスを行う

郡上市市民協働センターでは、今後も参道市実行委員会への支援を続けていく予定です。



HOW to USE shimin-kyodo center.

市民協働センターの使い方

その①「抱えている問題や課題を話そう」

地域や個人で抱えている問題や課題はたくさんあります。

その解決方法や手段が見つからないから、相談もできないと思いませんか？

第三者にそのことを話すと、話している間にその方法や手段にたどり着くとも言われています。

まずは、気軽にお話をしにきてください。帰るころには、難しかった謎が魔法のようにとけるかもしれません。

その②「自分たちの思いを行動に繋げよう」

私たちの生活にはやり場のない思いが沢山存在しています。そのためには、問題と正面から向き合い解決することが必要です。

市民同士、あるいは市民の皆さんと行政とが、「なぜそうなのか」を話し、どうしたら「そうでなくなるのか」を話し合えば、もしかしたらびっくりするような解決策が見つかるかもしれません。

その③「未来のことを考えよう」

現実の問題や課題はあまりに重すぎたり、さまざまで、複雑な関連があったりして、単純な解決方法が見つけないものです。そんな時は、10年後の未来や子供たちが大人になる頃のことから考えてみましょう。

「10年後や、子供たちが大人になる頃にはこんな地域になって欲しい」そんなイメージの到達点から、そこに到達するためにこれからどうすべきかを考えると、沢山のやるべきことが見えてきたりします。市民協働センターはそんな想いを未来に向けて一緒に取り組むための場所です。

そうです。そこで何かピンときたら、市民協働センターへレッツゴー!!